

社会への 取り組み

当社のこれまでの歴史は、
さまざまなステークホルダーと
ともに築いてきたものです。
長年の事業活動で得た知識や
経験を活かし、また常に社会に
おける当社の役割を考えながら、
今後もステークホルダーとの
関わりを通して、
社会に貢献できるよう
CSR活動に取り組んでいきます。



京阪ファミリーサンクスフェア in ひらパー

ごあいさつ

当社は、開業以来1世紀近くにわたり、公共性の高い鉄道事業を中心に、不動産、流通、レジャーなど幅広い事業を展開するなかで、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を大切にして歩んでまいりました。

そのような状況におきまして、昨年10月、当社では中之島線を開業することになりました。これにより中之島西部地区のこれまでの鉄道空白地帯を解消し、交通ネットワークが大いに充実するとともに、中之島線のなにわ橋駅では、地下1階コンコースに「アートエリアB1」を開設して、さまざまなイベントを開催し中之島エリアの文化・芸術の創造と交流の場として活用されています。このような中之島線での事業活動は本編「社会への取り組み」としても十分に評価できるものですが、詳細は特集(P.6~8)で取り上げておりますのでご参照ください。

本編では社会的貢献として、ステークホルダー別の取り組みをご紹介します。これからもすべてのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを図りながら、築きあげられた信頼関係をさらに強化して、当社の社会的責任を果たすようCSR活動を推進してまいります。



京阪グループCSR委員会
副委員長
代表取締役副社長
櫻井 謙次